

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ぼとす		
○保護者評価実施期間	R7年1月20日 ～ R7年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	R7年1月20日 ～ R7年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援～放課後等デイサービスの多機能型であるため、環境を変えることなく、通いなれた場所での継続したサービス提供ができるため、安心感に繋がる。	・児童と放デイとで同じ活動を取り入れたり、互いに活動をみられるような環境設定にしている。	・児童・放デイが、一緒に取り組めるような活動を通して、互いに協力・コミュニケーションをとっていける場面を多く作り、ライフステージが変わっても変わらない安心した場所作りを提供していく。
2	・様々な職種（前職も含め）の職員が支援員であるため、多角的な意見による支援ができる。	・会議の場面だけでなく、少しの合間でも、意見交換ができるような雰囲気作りを心掛けている。	・左記。職場に相応しい、コミュニケーション・雰囲気作りを行っている
3	・支援時間を1時間という限られた時間を設定し、メリハリを持った支援を行える。	・児童が園を離れて療育に通えることの利点をしっかり感じられるような活動や個別に対応できるようにしている。	・左記

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援～放課後等デイサービスの多機能型であるため、年齢や特性が異なる児童が利用するため、安全面や活動支援の内容など配慮がより多く必要になる。	多機能型の特徴であるため、課題の要因とは捉えていない。右記などでの対応をしていきたい。	・職員配置を規定数より多くし、職員に対しても安心して業務を行ってもらう。 ・その日のリーダー制を作り、全体を見通せる職員を作ること活動の進捗の把握や安全面への配慮を行う。
2	療育メインの現場での経験が少ない（前職）職員がいるため、支援の即戦力になりづらい。	長期的に経験を積み、有意義な勤務となるよう右記などで対応していきたい。	・外部/内部研修の機会を設ける ・OJTの導入
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		多機能型事業所ぽとす		公表日		令和 7 年 2 月 26 日		
				利用児童数	6	回収数	6	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6				勉強スペース、運動スペースと分かれて いて十分な広さがある。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。				6	職員の人数配置はよく分からない。 職員は多く感じるが配置まではわから ない。	保護者にの配置人数を知らせ対応する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6				開放感がありスペースが分かれていて分 かりやすい。 段差もなく配慮が適切だと思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	6				連絡帳も見やすく、活動内容を見て満足 している。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	6					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	6				保護者に寄り添いながら子どもにあった 支援をしてもらっている。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援 内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的 な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	6					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。				6	地域での交流があるのか分からない。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	6				丁寧に教えていただきました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3			研修会はないが情報は聞いている。 個々にはある。	プライバシー保護のため行っていない が、保護者からの要望があれば情報提供 の場を設ける。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	6					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			4	2	きょうだいがいない為わからない。 保護者の交流はない方だと思う。	プライバシー保護のため行っていない が、保護者からの要望があれば保護者同 士の連携は繋いでいく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	6					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	6				毎月のおたよりで行事の予定を伝えてく れている。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6				SNSの更新が多く満足している。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6				すぐに連絡をくれて状況もわかりやすく次の対策まで話してくれる。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6					
	29	事業所の支援に満足していますか。	6					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7 年 2 月 26 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用人数や特性に応じ、対応しやすいスペース作りをしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適宜変更し、フリー職員の配置なども取り入れている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子ども目線での設置やイラストなどを取り入れている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		見通しがよい空間を作り、安全面に配慮している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		扉やパテーションの使用で完全個室、半個室などの使用ができる	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的なミーティングやモニタリング後の支援会議などの参加により実施している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		モニタリングおよび家族支援をもった後に実施している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日常的にできるような雰囲気作り	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		持ち回り制で実施している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		毎朝のカンファレンスや定期的なモニタリング・家族支援実施後の報告などを通して実施している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		12に記載	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		12に記載	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		12に記載 適宜、ツールの見直しや個別に必要なツールの選定	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		12に記載	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		12に記載	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・様々な職種をもつ職員により飽きのこないような活動を取り入れている ・カンファレンスの実施	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		12に記載	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		12に記載	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		12に記載	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録内容の振り返り・指導の実施	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		12に記載	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		メインで関わっている支援員から情報を聴取し、児発管が中心となり参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		関係連携の機会を適宜設けている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		26に記載	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		適宜、電話等での相談や定期的な会議に参加	積極的に参加していきたい
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の公園や系列の託児所などの行事活動の実施	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		適宜または定期的な家族支援を居宅や事業所で実施	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		内部・外部の研修の場などの提供を実施していきたい
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時改正時の周知、または個別対応の実施	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者・子どもと聞き取りの場所を変えて、意向を確認する場合もある	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		33に記載	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		33に記載	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族参加できるような行事の実施	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		33・36に記載	

非常時等の対応	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSや定期的な紙面によるお便りの発行の実施	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		カルテ等の閲覧場所の規定を設けている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		契約時の情報聴取や家族支援時に確認し、配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の公園の利用や行事への案内の実施	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練の前後に報告の実施	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的な実施、持ち回り、行政への依頼などの実施	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時の確認、変化があった場合の情報共有・助言の実施	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		47に記載	
非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		契約時の確認、変化があった場合の情報共有・訓練前後の報告の実施	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時の確認、変化があった場合の情報共有の実施	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		定期ミーティング・報告書を通し、職員への周知と対策をしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・ ニュース報道を通して職員間での共有を行っている。 ・ 監視カメラの導入で確認ができる	外部研修への参加機会を全職員ができるよう計画をたてたい
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		計画書への記載・同意書・説明など行っている	